



























秋冬野菜の生育状況と10月の価格見通しについて（10月1日現在）
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況 等
根 菜 類	生育は順調。
葉 茎 菜 類	生育は順調。
果 菜 類	生育は順調。
土 物 類	生育は順調。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年10月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			10月前半	10月後半
だ い こ ん	北海道(38%) 青 森(27%)	適度な気温と降雨により肥大が進み、前半は、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 後半は、後続産地である関東近在産地が、高温・少雨により生育が遅れているため、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
に ん じ ん	北海道(89%) 青 森(6%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		

はくさい	長野(70%) 茨城(18%)	長野県において引き続き豊作基調であり、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> ただし、今後、気温が低下し、鍋需要が増加すれば価格は平年並になる可能性。		
キャベツ	群馬(55%) 千葉(19%)	群馬県において引き続き豊作基調であり、 <u>前半は、出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 後半は、後続産地である関東近在産地が、高温・少雨による定植の遅れがあるものの、群馬県の出荷が続いているため、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
ほうれんそう	群馬(34%) 栃木(19%)	高温による生育不良が一部に見られるものの、その後の気温の低下で生育が回復傾向にあるため、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
ねぎ	青森(27%) 秋田(13%)	生育が順調で、病害等も少なく、 <u>出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>		
レタス	茨城(56%) 長野(32%)	豊作基調であり、 <u>出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>		
きゅうり	埼玉(30%) 群馬(22%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		

なす	高知(29%) 栃木(22%)	東北産地において作付面積が増加していることに加え、全国的に生育が順調であることから、 <u>前半は、出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 後半は、東北産が出荷の終盤を迎えることに伴い、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
トマト	千葉(24%) 茨城(18%)	茨城県において、高温・少雨により病害が一部で発生しているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
ピーマン	茨城(61%) 岩手(10%)	東北産地において作付面積が増加していることに加え、全国的に生育が順調であることから、 <u>前半は、出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 後半は、東北産が出荷の終盤を迎えることに伴い、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
ばれいしょ	北海道(99%)	豊作基調であり、 <u>出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>		
さといも	埼玉(38%) 千葉(27%)	生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
たまねぎ	北海道(88%) 輸入(11%)	北海道において収量は平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u> ただし、今後、海外からの輸入量によっては、価格は平年を下回る可能性。	